



病児保育室

ほっとチュッピーだより



医療法人 真周会 三宅内科小児科医院

病児保育室 ほっとチュッピー

総社市井手 919

☎ (0866)93-8882 《9:00~17:30》

📠 090-2009-5046 《7:00~19:00》

朝夕は冷え込む季節になりました。

病児保育を利用するこどもたちの手洗いの様子を見ると、とても丁寧にできており、ご家庭や園、学校で教えてもらったことがしっかりと身についているのを感じます。これからも丁寧な手洗いをおこない、病気の予防をしていきましょう。



2020年11月

登録申請書など、
ダウンロードできます♪

ほっとチュッピー 🔍

【病児保育とは】

入院の必要はなく、病気やケガ等で通園・通学が困難な、小学6年までの児童が対象です。

家庭での看護が困難な場合、医院に併設した専用保育室で、専任看護師と保育士が、その児童を一時的に預かる事業です。保護者の就労は問いません。



ほっとチュッピー
の
手洗い場

低年齢児は流水部まで手が届きにくく、洗いづらかったため、蛇口延長ガイドを取り付けました。すると、今までの通常の蛇口に見慣れていた児童数人から「流しそうめんみたい!」という言葉が。確かにそう見えるなぁと納得しました。

薄着の習慣は秋からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする



大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

